



片持ちスイングアームに際してもノーマルにモディファイせず、後部ダブルブレーキのブレイドを一枚取り替えている。

SURESHOT

HOLESHOT

文=及川壯一 text by SOUICHI OKAWA 写真=伊藤潤一郎 photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力=シュアショット phone 043-312-0900 <http://www.sureshot.jp/>

完成された独自の世界観を持ちながら、同時に極めて革新的かつ野心的なマシンにフィニッシュされた77年XLH。「アイアンスポーツでストリートファイター」をコンセプトにシュアショットがビルドしたこのマシンは、ナローな車体にリアの4輪用タイヤ&ホイールのボリュームが相まって、インパクトの高いスバルタンなルックスを獲得している。

見せ場となるのは、厚み5.5ミリのスチール製積円パイプを曲げて製作した片持ちスイングアームで右チェーンが浮

いているように見える視覚効果にも、ビルダー相川拓也の遊び心が見える。さらにタンクをエグって装着したWEBERダウンドラフトキャブも見所で、ここはホットロッドのエンジンから突き出たファンネルをイメージ。インマニをワンオフすることでキャブを車体中心に寄せ、アルミ製キャブカバーでタンクと調和させているのだが、これらのモディファイは決してハッターではないとのこと。ドラッグレース参戦も視野に入れたという創り手の意思……真価を見せるのは走る姿、か。



①エンジンカバーは、スチール製で、②WEBERダウンドラフトキャブを装着し、③インマニをワンオフすることでキャブを車体中心に寄せ、④アルミ製キャブカバーでタンクと調和させているのだが、これらのモディファイは決してハッターではないとのこと。ドラッグレース参戦も視野に入れたという創り手の意思……真価を見せるのは走る姿、か。